

令和4年度 鹿児島工学院専門学校 学校関係者評価報告書

1. 開催日	令和5年5月25日(木)		
2. 時間	15時～16時30分		
3. 場所	鹿児島工学院専門学校 2階		
4. 出席者	【委員】敬称略		
	一般社団法人 鹿児島県電設協会	副会長	春山 建
		理事	山ノ内 元治
	一般社団法人 鹿児島県自動車整備振興会	技術教育部長	平野 学
	株式会社 ホンダさつま	サービス部長	木佐貫 哲也
	一般社団法人 鹿児島県建築協会	事務局長	井手之上 浩幸
	株式会社 上野城	代表取締役	上野 敏孝
	【学校教職員】		
	校長	村田 直志	
	教頭	永野田 純一	
	事務長	亀甲 章蔵	
	広報／教務部長	熊谷 朋子	
	電気技術工学科	吉田 大悟	
	自動車工学科・1級自動車工学科	上野 純	
	建築デザイン科・建築士専攻科	西 利一郎	
	広報／一般教養	南迫 絵理	

発言者	内容
熊谷	1. 職員紹介, 委員ご紹介
村田	2. 開会挨拶 本校 校長より, 学校行事の状況報告も含め, 挨拶
熊谷	3. 学校要覧説明 初任の方がいらっしゃるため, 以下について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・修学支援新制度について ・「専門学校」とは ・本校と大学・短大の違い ・国家資格の取得に向けた指導方法 ・就職率…昨年度実績100% ・学生の1日のスケジュール ・各学科説明 ・学校行事 ・入試方法, 学費補助制度 ・オープンキャンパス, スクールバス
永野田	4. 自己点検・評価 評価が3段階のうち「2」以下について主に説明 (1)教育課程・学習指導 【基礎学力の育成】 授業進行について, 教員間の連絡を密にして, 効果的な授業を行う (2.0)

	<p>→これまでも教科担当が違うものは、授業（実習）進行の連絡を行ってはいるが、今後、学生ごとの進捗含めさらに細かく行っていきたい。</p> <p>【学校評価の実施】年2回の学校評価を行い、指導の改善に努める（1.9）</p> <p>→前期・後期に分けて評価・分析後、ホームページに公開をし、各職員間と上長とで面談も実施していたが、十分ではないと思うので、改善したい。</p> <p>(2)生活指導</p> <p>【挨拶・礼儀指導】来訪者への挨拶等を徹底指導する（2.0）</p> <p>→挨拶の仕方等、日常の指導は常に行っているが、対象を来訪者と区切っていることから数字としては限定されたと考えられる。項目の見直しを含め改善する。</p> <p>(3)進路指導</p> <p>【職場開拓】</p> <p>a. 企業との連携を密にして、企業の採用情報・求める人材像を明確にする（2.0）</p> <p>→各科企業説明会を実施し、企業の求める人材像を担任が把握しているが、担任以外の職員の中に把握できていない者がいるのではないかと考えられるため、共有の手段を工夫したい。</p> <p>b. 就職率100%を目指し、学生の希望に沿って企業開拓を実施する（2.0）</p> <p>→コロナの影響もあり、県内・県外ともに新規開拓はできていなかった。また、学生数に対し、頂いている求人がかなり上回ることから、状況を見直しつつ職場開拓をしたい。</p> <p>(4)広報</p> <p>【高校との信頼関係】</p> <p>高校訪問を通じ、在校生の近況報告等で、高校との連携を図る（2.0）</p> <p>→年に2回（4月・7月）の高校訪問を卒業生便り持参のうえ実施。ただ、窓口が進路の先生ということもあり、担任の先生へ繋がりにくい場合もあるため、学生動向の報告についてはさらに工夫も必要。</p> <p>(5)組織・運営</p> <p>【経営方針】</p> <p>全職員が経営ビジョンを認識し、その達成に努力する（1.9）</p> <p>→労務管理については事務部で残業時間を出し、働き方改革・業務改善を図っているが、資格試験前は残業になりやすいことから、シラバス・学習内容を見直し、試験対策を早い時期から取り組むことも検討。</p>
<p>上野委員</p> <p>吉田 （電気）</p> <p>上野 （自動車）</p> <p>西（建築）</p>	<p>5. 質疑応答</p> <p>基礎学力の育成について、各学科の取り組みはどのように行っているか。</p> <p>入学者は普通科出身や、電気以外の工業系出身の学生が多い。 電気の基本的なところから説明をしている。</p> <p>2年課程の自動車工学科は最初に3級自動車整備士のテキストを用いて、基礎から学べるようにしている。</p> <p>入学者の大半は初心者。建築を知らない学生でも取り組めるように、いきなり図面を描くので</p>

	<p>はなく、線の引き方のような基礎から教えるような授業にしている。</p>
春山委員	<p>退学・休学者の内訳について聞きたい。</p>
亀甲	<p>令和3年度／退学者6名、令和4年度／退学者6名 理由…入ってみたけど思い描いていたものと違った、というのが大半。 経済的な理由による退学者はいない。</p>
熊谷	<p>入学後すぐに専門分野が実践できると思っていたが、まずは基礎からの学習なので、そういう意味でのイメージに相違があったと思われる。</p>
平野委員	<p>高校訪問を実施しているということだが、高校進学の時点である程度、将来の分野が決まっている。自動車分野の割合が減っている中、中学生にアプローチできればと感じているが、どうか。 また、専門学校によっては留学生を受け入れているところもあるが、工学院ではどうか。</p>
熊谷	<p>中学生へのアプローチについては、昨年度より、桜丘中学校から各分野の体験の依頼があり、3年生全生徒（約160名）が来校した。中学校の先生方も、高校を選ぶ段階で世の中にはどのような職業があるのかをイメージさせたいという思いがあるようだ。 他の中学校からもPTAを含め依頼がある。 本校も同じ思いなので、今後も中学生も含めて各分野のアプローチをしたい。</p>
村田	<p>留学生の受け入れについて、学園で検討した結果、学生寮や通学という点で地理的に難しいということになり、再検討は難しいのではないかと考えている。</p>
木佐貫委員	<p>自動車整備士の人材不足が深刻な状況になっている。 当社でもベトナムから13名を受け入れている。 県内の高校生を中心に入学していると思うが、県外からの学生の受け入れはあるか。</p>
熊谷	<p>熊本南部・宮崎方面からは毎年入学者がある。 また、高校は県外だったが、地元に戻ってきて本校に入学した学生もいる。 積極的に九州全土の募集をかけているわけではないが、人材不足に対してはどの分野も厳しい状況であることは理解しているので、今後、検討する必要はあると思っている。</p> <p>留学生受け入れについて補足だが、留学生は生活費と学費を確保するためにアルバイトが必須であったり、健康面を含め生活のフォローが必要となるため現時点では難しい。募集の現段階では、日本人の学生に対して最大限できることはないか模索している。</p>
上野委員	<p>校内にアルバイト募集の掲示板はあるか？</p>
熊谷	<p>ある。企業から頂いたものは掲示している。 あくまで学業と両立できる範疇で、社会経験として促している。</p>

上野委員	<p>当社は学校の近くにも職場を持っているので、学生にアルバイト先を提供できるのではないかなと思う。</p> <p>留学生の中にも質の高い人たちもいる。先ほどの入試制度は適用できるのか。</p>
熊谷	<p>大半は新卒の高校生を対象にした入試方法になっているので、留学生については日本語能力検定など、別の条件になるかと思われる。</p>
山ノ内委員	<p>最近の若年層は、能力・技術は身につけているが、社会性が足りない者もいると考えている。自己点検・評価の「挨拶・礼儀指導」の評価が1.9のものがあつたが、コミュニケーション能力が養えるような授業もしてもらえると、学生が社会に出た際に困らないのではないかな。新入社員は特に電話応対に出たがらないようだ。</p>
熊谷	<p>スマートフォンでのやり取りが主になっている昨今、学生は固定電話での応対に対する意識がない。こちらはその点は危惧しており、電話応対の実技を重視するとともに、来客応対の実技も実施している。今後は教育用の電話機を導入しながら、全学科、電話応対などのロールプレイングの授業展開を予定している。</p>
上野委員	<p>学校の施設を見て、興味を持つものが多いと感じた。</p> <p>建築デザイン科の学生が製作した模型は、中央公園の周囲を含めた物になっていた。建築業界の中には都市計画があるが、学校の学習にも含まれているのか。</p>
西	<p>都市計画も含めて卒業設計の模型製作をしている。</p> <p>グループごとにテーマを与え、都市計画も含めて設計を考えるように指導している。</p> <p>また、「建築計画」という授業の中で有名な建築家が設計した建物を紹介したり、「新建築」という雑誌を学生が自由に見られるようにし、都市計画から建築設計に至るまで参考になるようにしている。</p>
上野委員	<p>建築デザイン科の学生の中には、宅地建物取引士の学習もしているということだが、何か意図があるのか。</p>
西	<p>カリキュラムにはないが、社会に出た際に実務に役立つ内容であることから、希望者に対して個別対応をしている。</p>
上野委員	<p>学科を渡って、学生同士の交流があるか。</p>
西	<p>建築デザイン科では校内コンペを行っているが、全学科の教員・学生に自分が制作したものを発表する場を設けており、そこで学生間の交流がある。</p>
井手ノ上委員	<p>建築業界でも人手不足、高齢化が問題になっている。</p> <p>新しい生産性向上のための取り組みとして、業界ではBIM（ビム）というシステムが導入され始めているが、そのような生産性向上システムを授業の一部に取り入れると更にスキルの高い良い人材が企業に入るのではないかなと思うが、どうか。</p>

西	<p>企業でも BIM は今後も普及するといわれている。 建築デザイン科でも新しいシステムを取り入れた授業を行っており、1年生では CAD, 2年生では BIM を使った授業をしている。</p>
熊谷	<p>本日、頂いた意見をもとに、各科長で改めてカリキュラムを検討する。 ホームページのトピックスやインスタグラムに授業の様子も随時、投稿しており、できるだけ多くの中学・高校の生徒さんに興味を持ってもらえるように取り組んでいく。</p>
永野田	<p>4. 閉会挨拶 本校 教頭よりご協力いただいたことの感謝も含め、挨拶</p>

※本議事録は、本校ホームページ上に掲載